

1. 経営理念

JAの総合力を発揮し

『地域に信頼され、必要とされるJA』を目指します。

2. 経営方針

基本ビジョン（中期経営計画）

<テーマ>

組合員・地域とともに食と農を支える協同の力の発揮

<基本目標>

I 次世代につなぐ持続可能な農業の実現

農業者の所得増大を実現すること、担い手経営体への経営支援や次世代総点検運動の実践を通じた次世代の担い手の確保・支援を行います。また、安全・安心で環境に配慮した農業の推進に取り組むことで、次世代につなぐ持続可能な農業を実現します。

II 食と農を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献

食と農を支える仲間づくりを進めることで、組合員・地域住民とJAとの関係を強化し、活動や事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現と地域活性化に貢献します。また、適切な情報発信により、食・農・JAへの理解醸成を図ります。

III 持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化

JAの総合事業経営を継続できるよう、成長・効率化に向けた取り組みを実践し、持続可能な収益性及び将来にわたる健全性を確保します。また、適切な内部統制を構築・運用することにより、持続可能な総合事業経営のための経営基盤強化を図ります。さらに、組合員と地域を支える人材の育成に取り組めます。

3. 経営管理体制

当JAは、農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選出された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行う理事には、組合員の各層の意思反映を行うため、青年部や女性部などから理事の登用を行っています。また、専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。